



環境活動レポート



株式会社ホクノー
2020年10月31日
(実績 2019年8月1日～2020年7月31日)



1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社ホクノ

代表取締役社長 野地 秀一

2. 所在地

〒004-0014 北海道札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役管理部長 鈴木 和敏 (連絡先 TEL : 011-897-2012 FAX:011-897-2046)

4. 事業内容の概要

食品小売、雑貨書籍販売および不動産、公園施設の管理、飲食

5. 事業の規模（主要製品の生産量・出荷額・従業員数、事業所の延べ床面積等）

活動規模	単位	令和元年度
売上高	百万円	売上規模 (3,147)
従業員	人	8h換算132人 (総人数216人)
床面積	m ²	4,099

6. 環境活動の対象期間と発行日

対象期間：令和元年度（2019年8月1日～2020年7月31日） レポート発行日：2020年10月31日

対象事業所

(1) 本社	：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
(2) 中央店	：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
(3) 新札幌店	：札幌市厚別区厚別中央1条6丁目
(4) 厚別5条店	：札幌市厚別区厚別中央5条6丁目
(5) 厚別東2号店	：札幌市厚別区厚別東2条4丁目
(6) もみじ台南店	：札幌市厚別区もみじ台南6条1丁目
(7) もみじ台ショッピングセンター直営店（リビングもみじ台、だいいち）	：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
(8) 牛角ウエスタンパワーズ店	：旭川市永山12条3丁目
(9) ホクノ一園	：札幌市厚別区下野幌2006番地

7. 環境方針

環境基本理念

当社は地球環境に関する責任を厳粛に受け止め、企業活動と環境との調和を図り、環境汚染の防止、資源の有効利用に継続的に取り組み、より良い社会の実現に努める

環境方針

1. 事業活動及び当社の製品が与える環境負荷と取り組みの成果を的確に把握し、当社の事業活動にふさわしい以下の環境活動を実施します。

- ① 消費エネルギーと資源の削減
- ② 投入資源の削減
- ③ 廃棄物の減量と再利用
- ④ グリーン購入の推進

2. 環境目標を設定し、適切性維持のため、毎年見直しを行い、環境経営システムを継続的に改善するとともに、自主的、積極的に環境への取り組みを行い、継続的な環境負荷の削減につとめます。

3. 環境に関する法令や条例、その他規制を受ける事項を順守します。

4. 全従業員が環境方針を理解し、自らの役割を十分に認識し、本方針に沿って活動が行われるよう環境教育を進めます。

2014年8月1日
株式会社ホクノー
代表取締役社長 野地秀一

8. 環境目標とその実績

(1) 中期環境目標

項目	29年度目標	30年度目標	元年度目標
項目	前年対比	前年対比	前年対比
消費電力の削減	1.0%削減	前年維持	前年維持
2,858,735KWh/28年度	前年対比	前年対比	前年対比
水道水使用量の削減	前年維持	前年維持	前年維持
10,466m ³ /28年度	前年対比	前年対比	前年対比
一般ごみ排出量の削減	前年維持	前年維持	前年維持
45.9t/28年度	前年対比	前年対比	前年対比
コピー用紙使用量削減	前年維持	前年維持	前年維持
101,440円/28年度	マイバッグ等持参率	マイバッグ等持参率	マイバッグ等持参率
レジ袋使用量削減	90%	90%	90%

(2) 今年度の目標とその実績

項目	元年度目標	元年度実績
消費電力の削減	前年対比	2,354,717KWh
2,558,245KWh/30年度	維持	目標達成(8.0%削減)
水道水使用量の削減	前年対比	7,417m ³
8,851m ³ /30年度	維持	前年対比83.8%
一般ごみ排出量の削減	前年対比	47.2t
51.8t/30年度	維持	前年対比92.9%
コピー用紙使用量削減	前年対比	130,228円
129,670円/30年度	維持	前年対比100.4%
レジ袋使用量削減	マイバッグ等持参率90%	目標達成

令和元年度 二酸化炭素総排出量 1,706,489.90kg (前年度 1,786,615.66kg)
 (温室効果ガス排出係数：北海道電力(株)0.656kg-CO₂/kWh・(株)エネット0.45kg-CO₂/kWh)

9. 主要な環境活動計画の内容

(1) 消費電力の削減

- ① 不用照明の消灯をする。
- ② 開店前、閉店後の店内照明は3分の1とする。
- ③ スポット照明は開店前、閉店後は消灯する。
- ④ 蛍光管のメンテナンス、チラツキ蛍光管は電力消費が大きいのので、速やかに交換する。
- ⑤ 屋外照明の点灯、消灯事項を調整する。

A) 通常期	4月～10月	PM6:30点灯	閉店時消灯
B) サマータイム	7月～8月	PM7:00点灯	閉店時消灯
C) 冬季	11月～3月	PM4:30点灯	閉店時消灯

※タイマー設置店は期間で必ず確認の事。未設置点は上記設定時刻に準ずる。

(2)水道使用量の削減

・水道の正しい使い方

- ① 蛇口は全開しない。（吐水量1分間に約30リットル出ます）
- ② 蛇口ハンドル回転角度は90度～360度までとする。（吐水量がもっとも効率的です。）
- ③ 水、お湯の出しっぱなしでその場を離れない。
- ④ ため置き洗いを徹底する。

・女性用トイレの擬音装置の活用

- ① 節水のため、必ず音姫センサーに手をかざす。（1回の使用で約8リットルの節水になります）

(3)一般ゴミ排出量の削減

- ① 札幌市環境事業公社の分別基準に従い分別する。
- ② 各ゴミ置き場の分別表示を基に排出する。
- ③ リサイクル資源ゴミも上記公社基準に従い分別する。
- ④ 体積減量のため出来るだけ圧縮する。
- ⑤ 一般ゴミは札幌市環境事業公社に回収依頼する。
- ⑥ 生ゴミは札幌市環境事業公社に回収依頼する。
- ⑦ 資源リサイクルゴミは札幌市環境事業公社に回収依頼する。

(4) コピー用紙使用量削減

- ① 会議資料は裏面印刷で使用枚数を削減する。
- ② 連絡、報告事項は紙ベースでなくホクノーweb 掲示板を利用する。
- ③ ミスプリント用紙は裏面コピーで再利用する。

(5) レジ袋使用削減

マイバッグ等持参率向上によるレジ袋削減に向けた取組みに関する協定締結。

三者協定（事業者、市民団体、札幌市） 平成20年 9月 3日締結。

【1】協定の概要

A)協定の目的：ゴミ減量と二酸化炭素の削減を推進し、循環型社会の実現と地球環境の保全を図ることを目的とし、市民、事業者、行政が協働して、札幌市内で利用されるレジ袋の削減を目指す。

B)協定の役割：マイバッグ等持参率の目標を設定した上で、マイバッグなどの持参促進及びレジ袋の有料化(1枚3円)による削減を積極的に取組む。

C)マイバッグ等持参率目標設定

<29年度> 90% <30年度> 90% <令和元年度> 90%

【2】レジ袋有料化（1枚3円）によるレジ袋の販売代金は北海道CGCみどりところの基金を通じて、環境保全活動や地域貢献活動などに還元し、その内容を公表する。

【3】23年度マイバッグ等持参率実績～レジ袋無料時のマイバッグ持参率 25%

レジ袋有料化取組後のマイバッグ等持参率

平成26年度	90.0%
平成27年度	90.1%
平成28年度	90.0%
平成29年度	90.1%
平成30年度	90.1%
令和元年度	90.8%
年間マイバッグ等持参率90.0%達成	

【4】詳細は下記ホームページ公表中

A)北海道CGCみどりところ基金

B)札幌市環境局環境事業部ごみ減量推進化

10. 環境活動の取組み結果の評価

(1) 消費電力の削減

もみじ台ショッピングセンターの空調機を更新、夏期の熱供給を使用しなくなったほか、空調機の運転は、ピーク時を避け早朝にシフトするなど消費電力削減に努力、目標達成した。日々の朝礼、ミーティング等での繰り返し教育で従業員の意識向上を図り節電に努力し、引き続き更なる削減に努力する。

(2) 水道使用量の削減

無駄の排除で節水に努め、更なる節水の徹底を図った結果、前年比16.2%削減となり目標達成、更なる削減に努力する。

(3) 一般ゴミ排出量の削減

焼却ごみと資源ごみの分別を徹底し、前年比7.1%削減。分別徹底を図り、削減に努力する。

(4) コピー用紙使用量削減

会議資料の削減、健康ステーション関連の使用量削減に努め、使用量は前年比0.1%減となったが、料金は前年比0.4%と僅かながら増加となり、目標未達成となった。今後も更なる削減に努力する。

(5) トレーの回収

中央店、新札幌店、厚別5条店、厚別東2号店、もみじ台南店の5店で回収ボックスを設置して実施している。

(6) 発泡スチロールの再資源化

発泡スチロールの減容機を購入、容積を削減しながら、発泡スチロールの再資源化を実施している。

(7) ホクノー園についての環境負荷は微量である。

(8) マイバッグ等持参率

令和元年度マイバッグ等持参率目標90%に対し、90.8%の実績で目標を達成した。令和2年7月1日からのレジ袋有料化政策をきっかけとして、持参率の更なる向上を図りたい。

11.環境活動での更なる削減目標

- (1)全社的に既設冷蔵設備関連の老朽化で節電に限界が来ている為、順次省エネタイプに取替えを進めるとともに、照明設備については、LED 照明に切替えることで電力消費量の削減を図り、二酸化炭素排出量の削減に努める。
- (2)平成28年度に大規模2施設の電気事業者を温室効果ガス排出係数の低い新電力へ変更、更に3施設を昨年度新電力へ変更済。また、一昨年度もみじ台SCの空調機を更新、夏期の熱供給使用がなくなったことにより、大幅に二酸化炭素排出量の削減を図っている。

12.食品廃棄物等の再生利用の実施率は91.3%。これは旭川市所在の牛角ウエスタンパワーズ店の生ゴミが旭川市のルールに従って現状では焼却となっているためである。食品廃棄物等の発生量は37.9tで、再生利用等の内訳は再生利用34.6t、焼却3.3tである。当年度の基準実施率60%を超えているので現状維持として改めて実施率の目標設定をしないが、特に生ゴミ発生量の減量に努力する。

13.認証、登録対象範囲の全社的取組み拡大(牛角の取組み拡大)は、25年度より実績を反映し削減に取り組んでいる。

14.2017年11月から中央店2階に「ホクノー健康ステーション」を開設、健康寿命を延ばすために、超高齢社会となった地域と連携した取組を実施中である。

15.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- (1)罰則、行政指導に関わる義務規程について、違反及び関係機関から指摘はなかった。また、訴訟等もなかった。

16.代表者による全体評価と見直しの結果

- (1)環境方針の改訂はありません。ただし、環境目標・環境活動計画・環境経営システムの方向性をいま一度確認していく。引き続き法令遵守、地域貢献を念頭に行動していく。
特に高齢化社会における地域環境の保全を考慮したい。
- (2)環境目標は、人的な目標設定では限界が来ているため、ハード面の見直しとして段階的に店舗照明のLED化や設備更新等を実施済みで、効率良い運用を図り電力使用量を削減させると共に、電力の大半を「地域電力」から温室効果ガス排出係数の低い「新電力」へ切り替えたことで、CO2排出量の大幅な削減を実現することができた。
今後は、老朽化しエネルギー効率が低下している小型店舗の冷凍・冷蔵設備更新を図って行く。また、更なる省エネ化と経費削減を図るため、夜間等、不採算の時間帯の店舗営業時間見直しを検討して行く。
- (3)環境活動計画について、各拠点における管理者の責任が重要と考える。管理者会議等でPDCAサイクルに基づき、計画を明確にして着実に遂行したい。
- (4)環境経営システムを通じて、生産性の向上に努めたい。